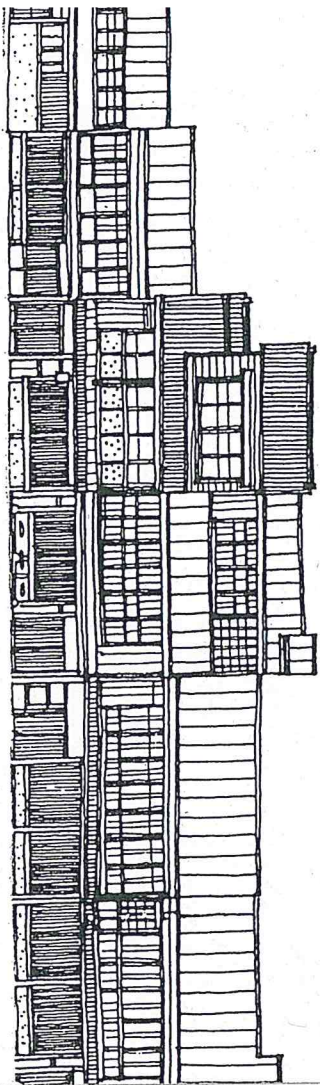


「おいであそばせ」

おいだすそばせ」



目次

1. あいさつ言葉	1
2. 人称(人を呼ぶときの言葉)	4
3. お勧め言葉	6
4. 相づち・返事	8
5. 形容詞など生活感情を表す言葉	10
6. 動詞	18
7. 名詞	19
8. その他	23
i 美しい金沢の言葉 (金沢大学文学部教授 島田 昌彦)	25
ii あとがき	27

金沢言葉	凡 例	共通語
あんやと存じます・あんやと「ありがとうございます」		
①おれの言葉。②「あんやと」は気安い間柄で使う。		
説明		明

1. あいさつ言葉

あんやと存じみす・あんやと「ありがとうございます」]

①お礼の言葉。②「あんやと」は気安い間柄で使う。③似た言葉に「おきのどくな」がある。これは相手の好意に恐縮・感謝の意を示し、少しニュアンスが違う。

いっておいであそばせ・いってらっし「いってらっしやい」]

①外出するお客様を送り出す言葉。②「いってらっし」は身内（あるいは目下）に使う。お客様に対しては失礼にあたる。

いってごさい「行っておいでなさい」]

いらさるこっちゃ「いってください」]

①くだけた表現。②初対面の方などには失礼にあたる。③その場所にてくださいの以外に「遊びにいらしてください」というようなときも使う。

いらして・いらしておいであそばせ [さようなら]

①単に「いらして」あるいは「またいらして」はおなじみさんの場合に使う。②「いらしておいであそばせ」はありがとうございますも含んだ丁寧な（お客様を送る）あいさつ言葉。

おいであそばせ・おいだすばせ [いらっしやいませ]

①お客様をお迎えしたとき。②発音は「おいだすばせ」の方が本来の金沢言葉に近い。③親しい間柄では、「ようおいでたね」ともいう。

おきのどくな [すみません。ありがとうございます]

①相手の好意、親切などに恐縮し、感謝する気持ちを表す言葉。②「おきのどくな、あんやとございみす」などと、その用例は多い。③似た言葉の「ごきみつつあんな」は、お金を受け取ったときなど、金銭を伴う場合に用いる。

お静かに [お気を付けて]

①お客様がお帰りになるとき。②帰途の平穩無事を祈る意味で使っている。

おひんなりさんでございみす [おはようございます]

①朝のあいさつ。②昼になった、太陽が昇ったという意味。

おゆるっしゅ [よろしく]

①別れに際してのあいさつ言葉。②「だれだれさんに、おゆるっしゅ」などと使うことも多い。

おるまっし・おるまっしま [いてください]

①くだけた言葉。②身内にはよく使うが、お客様に対しては失礼にあたる。お客様には「ここにおいであそばせね」などが適当といえる。

ごきみっさま・ごきみっつあんな [御丁寧な。ありがとう]

①感謝の気持ちを表す。②とくにお金を受け取ったとき（金銭の受け渡しの場合）に使う言葉。③発音は「ごきみっつあま」に近い感じ。

ごめんあそばせ・ごめん [ごめんください]

①他家を訪問したとき。②「ごめん」とあいさつする人もいる。この「ごめん」は武家言葉の名残であるといわれている。

こんね [今日は]

①他家を訪問したとき。②一般には「まいどさん」の方が使われる。

ながいこって [お久しぶりですな]

①久々に訪れたお客様に対するあいさつ。

まいどさん [今日は。今晚は]

①他家（あるいはお店）を訪ねたとき。②主に午後から（ときには午前中でも）使う。③「まいどさん」には、「やあ、やあ」（はい、はい）と応ずるのが慣用。

またおいであそばせ [またお越しください]

①お客様に対しては「お近いうちに、またおいであそばせ」というのが普通。

2. 人稱（人を呼ぶときの言葉）

あねさま [若い奥さん]

あんさ・あんか [お兄さん, 長男]

おあ (わ) ねえさん [奥様]

① 「ねえさん」(奥さん)の丁寧語。

おあ (わ) んさん [御主人]

①成人男子のお客様を呼ぶときに使っている。②一般的には青年層から中年ぐらいまで、その使用範囲は広い。③親しみを込めて、「おあんちやん」と呼ぶ場合もある。

おかつつあん [奥様]

①やや年輩の奥様。②「お女将さん」「お姑さん」なども含んだ呼称。

おくかたさん・おくさま・おくさん [奥様]

おかか・かーか【お母さん】

①自分の妻を呼ぶ場合など，夫婦間で用いられるくだけた表現。②他人に対し自分の妻をいう場合「かーか」ともいう。

おとと・とーと【お父さん】

①自分の夫を呼ぶ場合に用いられる。②「とーと」は「かーか」同様の用い方をする。

おひと・おかた・おひとさん【あの人，あの方。お客さん】

①第三者の尊称。②話の中で他人を指す言葉としてよく使われている。
③丁寧で美しい金沢言葉の代表的な用語の一つ。

たーた【お嬢さん】

①10代までの女性の呼び方。②少女。

だんさん・だんなさん【御主人】

①「だんさん」は女性が使う。「だんなさん」の方が一般的。

にやーにや【娘さん】

①若いお嬢さんも含む。

ねえさん・ねーさん【奥さん】

①若奥様。②おしやとや姑さんがお嬢さんを呼ぶときによく使う。

やや・やーや【お母さん】

①子供が母親を呼ぶ場合などに使っていた。主として農村部。

3. お勧め言葉

おあがりあそばせ [お召し上がりください]

①料理, 食事などを勧めるとき。②「食べまっし」「食べまっしま」も使われているが, これは身内言葉。お客様には失礼にあたる。

お取り上げを [お召し上がりください]

①お茶席で使われている。②広く宴席などでも使う。

お箸をお取りあそばせ [お召し上がりください]

①料理, 食事などを勧めるとき。②「お箸をお取りあそばせてくださいませ」ともいう。

食べまっし・食べまっしま [食べてください]

①料理, 食事をお勧めするとき。②「ただけだ身内言葉であり, お客様に対して使うと失礼にあたる。

たんまさんき [食べてください]

①料理, 食事をお勧めするとき。②「たんまさんか」ともいうが, 「たんまさんき」に比べると少し強く聞こえる。

どうぞご旨いみすき [いかがですか]

①相手の気持ちをお聞くととき。②「どうぞご旨いみすき、お気に召してくださいますか」などを使う。

飲みまさんき・飲んまはんけ [お飲みくださいませんか]

①お酒などを勧めるとき。②「飲んまさんか」ということもあるが、やや強くあたる。

飲んまっし・飲んまっしま [飲んでください]

①ぞんざいな身内言葉。②命令的に聞こえるので、お客様には使わぬようにしたい。

4. 相づち・返事

いかなでて [どういたしまして]

おいね [そう]

①「おいね, おいね」ともいう。②「おいね, ほんながやとこと」となどと, あとに言葉を続けることも多い。

そうけ, そうけ・そうき, そうき [そうですか, そうですか。
なるほど, なるほど]

①「おいね」とは微妙に違う。少し消極的な相づちといえようか。
②「そうや, そうや」という場合もある。③「そややね」「そややぞい
ね」といえば, やや積極的に同調する相づちとなる。

なも・な一も・な一む・な一ん [いいえ]

①軽い否定的な感じの相づち。②相手からお礼をいわれたとき「な一も,
いかなでて」(どういたしまして)という使い方もある。

ほうや・ほやとこと [そうです。そうですとも]

①「ほうや, ほうや, ほやとこと」といえば, 積極的な肯定の相づちに
聞こえる。

ほんなかや [そうなんです]

① ややくだけた相づち。② 発音の仕方で(語尾を下げると)失礼にあたる場合もある。

やあやあ・やーやー [はい, はい]

① 「まいどさん」とあいさつされたとき, 「やあやあ」と答えるなど, 一般的な返事。② また, 「やあやあ」は, 簡単なあいさつ言葉としても用いる。

5. 形容詞など生活感情

を表す言葉

あいそらしい「愛想がよい」

①やさしい, 思いやりがあるという意味も含んでいる。②「あいそらしいお方やね」などと人柄を表す言葉としてもよく使われる。

あいそん(む)ない「愛想がない」

①「あいそらしい」の反対。②冷淡な, 面白くない, 寂しいなどの意味も含む。③「この辺は, あいそんない(寂しい)ところで」などという使われ方もある。

あぐるしい・あぐたましい「きゅうくつな」

①太った人を見たときなどに使われる。

あせくらしい・あせない「慌ただしい」

①せわしい, 忙しいさまをいう。②「あせくらしい(忙しい)こっちゃね」などと, あいさつ代わりに使うこともある。

あてがいな「いい加減な」

①冗談半分のようなことに対し, 「あてがいなこといわん」といって「などという。」

いかなことかて [何ということかしら]

①驚きの表現で、なんぼなんでもといった意味。

いごくりわるい [意地の悪い]

①「いごくりのわるい」ともいう。

いじくらしい・いじつかしい [うるさい]

①親の意見に対し、「いじつかしい」と子供が反抗する場合などに使う。

②「うちの父ちゃんはいじくらしいもんで」と断る理由に使うなど、日常言葉としてよく使われる。③お客様に対しては使わぬ方がよい。

いちやきな [かわいい]

①年端もいかぬ幼い子供が、かいかいしく働くさまを見たときなどにこの表現を使う。

いとっしや・いとしげに・いとしほい・いとしほしげに [お気の毒な。可

哀想な]

①相手に対する同情、思いやりの気持ちを表す言葉。②「いとしい」

「いとしげに」という場合もあるが、かわいいや、愛するという意味ではない。

いんざらーと [ゆったりと]

① (広い部屋などで) ゆったりとくつろいでくださいという意味。②似た表現に「おんぼらーと」があるが、これは量的なことを表す言葉。

「おんぼらーと (ゆっくりとたくさん) 食べてください」というように使う。

うざくらしい [いやらしい]

①異性に対し冗談が過ぎた場合など「うざくらしい」と反発される。

うまさぶるし [塩辛い]

①塩辛いものを食べたとき、唇がはれるような思いを表す言葉。②ぬか漬けの鰯いわしを食べたとき、「あー、くどい(塩辛い)、うまさぶるしが出るくらいや」などと使う。

おどつけない・ももつけない [むごい]

①可哀想な意味も含む。

おとましい [惜しい]

①「おとましいこっちゃ」などと使う。②もったいないという意味も含んでいる。

おんぼらーと [ゆったりと]

①前出の「いんぎらーと」はどちらかといえば空間的なゆとりを指し、この「おんぼらーと」は量的なゆとりを指す言葉。「おんぼらーと食べてください」などと使う。

かさだかな [大げさな]

①仰々しいという意味も含む。②「こんなかさだかなことじまさんでもいいがに」などと使う。

からうさんな・からくさんな [いいかげんな]

①約束を守らないような人、中途半端に物事を処理する人などを称して「からうさんな」人という。

きずいな [愛嬌のない]

- ①あの店は「きずい」などと評判が立ってはおしまいである。②ただ、「きずいや」けれど値段が安いという評判が立てばまた別。

きんかんまなま

- ①冬の寒い日、道などが凍ってつるつるになった状態を表す言葉。
②「きんかん」は果物のキンカンからきているという。

ぐちな [優柔不断]

- ①お客様に対しては使わぬ方がよい。②自分に対しては、「私がぐちなもので」というように使う場合もある。

くどい・じくどい [しつこい]

- ①しつこいという意味のほかに、塩辛いという場合にも使う。②「じくどい」といえばさらに強調された意味になる。

けなるい・きなるい [うらやましい]

- ①お客様の自慢話に対し、「けなるいお話やね」などと使う。

げんぞらしい [わざとらしい、見えすいた]

- ①お客様の褒め言葉に対し、「げんぞらしいこといわんでください」などということもできる。②「げんぞらしい」ともいう。

こじんぼふる [すねる]

- ①氣にくわぬことがあり、すねた状態になったとき「こじんぼふるんではないかいね」などと、子供に対して使うことが多い。

ごぼる []

①雪道などで足が沈んではまること。②「ごぼつく」はゲダの足齒の間に雪が入ること。「ごぼついで歩けん」などと使う。

こんじょよし [気がよい]

①お客様など、相手の方について「こんじょよし」などというが大変失礼にあたる。②自分、あるいは身内に関して使うことはできる。

しなしなと [ゆっくりと]

①動作に関して。(お掃除を)「しなしなとやってください」。②性格に関して、「あそこの娘さん、ほんとにしなしなとした女らしい娘さんやね」などと使う。

しまな [ふかいはない]

①自らの動作について「しまなもんで……」と(下手あるいはドジなという意味で)使う。②子供や目下のもの動作などについて「しまなことするな」と叱る(失敗を叱る)ことも多い。

しまむない [味けない]

①「しまむない(味けないあるいは頼りない)人やね」。②また「しまも、ようもない」(本当に困った、弱ってしまった)という表現もある。

すんつけ・すんつけに [すぐに]

①時間的より距離的に、例えば「途中寄り道しないですんつけに行くといっていました」というように使っている。

だいさこく [派手に着飾る]

①盛装して遊びに行くのを見て、「えらいだいさこいて、どこへ行くまさるがやね」など使う。ただし、やゆの意味があるので、親しい間柄でしか使っていないようである。

だらな [ばかな]

①金沢言葉でよく聞く単語の一つがこの「だら」という言葉。②相手をばか呼ばわりするだけに使い方には充分注意を要す。③しかし、冗談をいわれた場合や、あまりにも自分が褒められた場合などに「だらんこといわんといて」なんてよくいう。④また、自分の身内や子供などに対して、「だらなことするな」(ばかなことするな)、あるいは他人に対して自分の子供のことを「だらぶちなもんで」(ばかなもので)などと日常的に使っている。

ちよっこし [少し, 少々]

①「もうちよっこし, 飲んまさんき」などと, その用例は広い。

てきない [疲れた]

①「たいそい」と同じく疲れたという意味。②それに、「腹が減って, てきないこっちゃ」といういい方もある。

どくしよな [薄情な]

①冷たいという意味もある。②「どくしよな, 近ごろ全然いらさらんね (おいでにならないな)」ということもできる。③粗悪品に対し、「どくしよな品物やね」ともいう。

にちこち [にっちもさっちも]

①身動きが取れない状態を表す言葉。

はしかい [利口な]

①利口な、賢いという意味。②「ほんとにはしかいお子さんですね」は褒め言葉。③ただし、「あのお方は、ちょっとしはしか過ぎて……」というと、こすい、ずるいという意味になるので注意が必要である。④利口な意味のほかに、のどがいがらっぽいの状態をいう場合もある。

はすわな [おうような]

①思い切りがよい。派手なという意味もある。「はすわに人に物を上げる人やね」などという。

ふんじよう・ふんじよな [不自由・不自由な]

へいろくな [こっけいな]

①冗談をいう、面白い人を指す言葉。

べしめんつくる [ペソをかく]

①能面のべしめ(圧面)からきた言葉ともいわれている。

ぼっこり []

①「ぼっこりしたい子ですね」(せかせかしない、落ち着いたという意味)②「ぼっこりしすぎて……」といえは、のんびりものということになる。

ほっこりせん [感心しない]

①納得できないという意味もある。②「なんか、ほっこりせんね」というように使う。

ものい・ものーい [つらい]

①仕事がつらい場合。②身体の具合が悪い場合など。

りくつな [巧みな]

①上手な、気が利くという意味にも使う。②「りくつな話やね」と、感心する意味にも用いる。

わ(や)くちやむ(も)ない [とんでもない]

①乱発すると下品に聞こえる。②「やくたいもない」ともいう。

わらびしい [董^{ちび}し, 子供っぽい]

6. 動 詞

行かん [行かない (打ち消しの意味)]

いごく・いのく [動く]

いっすく [すすぐ]

おそえる・おすえる [教える]

かせるう [ふざける]

きばる [配る]

きみる []

へしない [おそい]

よぼる [呼ぶ]

7. 名詞

あおくさや [八百屋]

あくたい [いたずら, 悪口]

あぐち [安座, あぐら]

あじち [分家]

いしな [石]

うる [精]

おかべ [豆腐]

おじゃごと [ままごと]

おつくばい [中腰で座って礼をする]

およごし [和え物]

おゆづけ・およづけ [おかゆ]

およなが [夕食]

おくもじ [つけもの (菜っ葉のつけもの)]

おんどべ [お尻]

かいぶし [小いわしの干したものだ]

こびり [小屋 (こびる) ・間食]

かんしよ・おちよんどこ・おしも [便所]

「おちよんどこ」は御手水 (おちよるず) 所のなまりともいう。

こっさ [枯れ松葉]

(類語に「こっさかぶり」(きのこの1種)あり)

こめからと [米びつ]

さんによ []

ずり [そり]

せんべん [せんべい]

そろいな [まびき菜]

竹ぼこ・竹ぼっこり [雪の上を歩くために竹で作ったはきもの]

ついぼ [杖]

どぼす [みぞ, 下水]

にぐりや [居酒屋]

ねんねば [寝巻]

ばいぎ・ばぎ [まき]

ばんしよ [行火]

ひつついさん [かまど]

(ご飯を炊くかまどに敬意を表し、さんつけで呼んでいた。)

びぶら [熊手]

へぎや [米屋, 雑穀屋]

ほうぐ [ぼぐ・不用紙]

みたま [黒豆入りのおごわ]

①建前祝いなどでは、赤飯は赤く火に通ずるところから、この「みたま」を出すならわしがある。

むしこ [格子・むしこ格子]

やくわん・やかん [あきっぱい人]

①鉄瓶(てつびん)に比べ、やかんは熱しやすく冷めやすいところから付けられた。けいごごとなどか続かないとき、「やくわんを起こす」という。

8. その他

いきました [行かれた]・帰りました [帰られた]

先に帰ったお客さんのことを話題にするとき、金沢では、「いま、いきましたかや」とか、「いま、帰りましたかや」などという。この「く」「る」をつかった表現は、そのお客に対して敬意を表す言葉になっている。

いんぜ・いんにゃ・いんじや [いや・否]

～ごさいみす・～できみせん・～みました

[文末の「ま」が「み」に変化する例]

- ① 「あんやとごさいみす」(ありがとうごさいます)
- ② 「お気の毒な、できみせんでね」(できなくてすみません)
- ③ 「いわりみました」(困りました), 「咲きみました」(咲きました)。また、語尾に「ね」をつけ、丁寧に「美しく咲きみましたね」などともいう。

～しよまいかね [～しようではありませんか]

例 「いっぶく(ひと休み)しよまいかね」

～そやる [～だろう]

相づちとしては、「そやる、そやる(そうでしょう、そうでしょう)」。

また、語尾やや強く「そやるいね」といえば、それ見たことかという意味になる。

たいま [ください]

どちらかといえば女性が使う言葉。「だれだれさんと呼んでたいま」というように使っている。「ちょっとまってたいま」などともいう。

～まさる []

①だんなさんおいでまさるき(ご主人様はいらっしゃいますか)

②これ食べまさる?(これ食べますか)

③そう言うまさるけど……(そうおっしゃいますが……)などと用いる。

丁寧な金沢言葉の一つ

i 美しい金沢言葉

金沢大学文学部教授 (国語学)

島田昌彦

金沢市のお世話で伝承者の方々から金沢言葉の実際の使われ方を伺うことができた。伝承者が話す金沢言葉は日々バスの中や路上で聞く金沢弁とは異なり、極めて美しくかつ優美で、伝統文化の華咲く百万石の城下町であった金沢に相応しい言葉遣いであると感ぜられた。

一例を挙げてみよう。ここ金沢では遠来の客を「ようこそおいであそばせ」と改まった言葉でお迎えする。この言葉は心からの歓迎の気持ちを伝えるとともに礼節を心得た格調ある表現で、しかも、それが穏やかに無理なく発音される現実に、古きよき文化の伝統が現在も脈々と伝えられていることを実感する。このような言葉遣いは共通語、京言葉、難波言葉と分化される以前の初々しい我が国の普遍的な物言いをほうふつさせるだけではなく、やさしく折りめ正しい金沢独特の生活が反映しているものと判断できよう。

伝承者の方々の聞き取り調査において気付いたことは、一人一人の伝承者が全く同一の金沢言葉を伝えているのではなく、一つ一つの言葉の解釈や文の発声などで微妙な相違が見られたことである。この事実は、美しく魅力的な金沢言葉が過去に存在していたことはまぎれもないが、金沢言葉

の実質は武家言葉、町人言葉、職人言葉などの複合体であり、また、市中、市周辺など地域による変化もあり、伝承者が金沢のどこにどのような生活を送ってきたかによって身に付けたものが一致しなかったためと考えられる。

我が国の近代化、具体的には中央集権的国家観に基づき学校制度やマスコミの発達並びに中央文化の地方への流入などによって、美しい金沢言葉はぐくんできた風土にひびが入り、共通語が多用されるようになってきた。これは金沢だけの現象ではなく、全国的規模で国民全体の風俗習慣や好みが一元化の方向にあり、このような均質な生活と生活感情に金沢市民が満足できるかどうか一人一人に問題提起されているものと思う。

アナウンサーの言葉に代表される共通語とは洗練されたものであるが、常に個人的感情を抑え、他人行儀で、あえていえば人間的でない表現である。一方、方言は、それがどのような土地のものであれ、正に「人間」そのものの表現であり、金沢言葉の場合、その「人間」に美しく優雅な衣装を着せたものと評価可能である。

この冊子に掲げられた金沢言葉は、過去に存在した金沢言葉の全体像と比較すると、ほんの一断片にしかすぎない。しかし、金沢市民がこれらを博物館的、異物的に継承するのではなく、これらの金沢言葉の雰囲気を楽しむように使い、かつ、率先して使用する人が大切に魅力的に話すようであったならば、きっと周囲の人たちにも金沢言葉のすばらしさが理解され、この地の文化を土台として京言葉、難波言葉と並ぶ金沢言葉の生活圏が確立されていくものと考えられる。

ii あとがき

「おいでやす」と聞けば京都を、「お晩です」といえば東北を思い浮かべる。

旅をして、心温まる土地の言葉で親切に迎えられたとき、旅情も一層深まる。

金沢市観光協会と金沢市旅館協同組合が提唱したこの「美しい金沢言葉」普及事業は、「金沢弁」の復活というより、観光関係者のホスピタリティ（親切応対）推進事業という側面を持っている。

この手引書は、料亭、旅館などにおける接客ことばを中心に、聞き取り調査をもとに作成したものであり、今後この手引書を材料に、「美しい金沢言葉」でお客さんをお迎えし、個性ある観光都市づくりをすすめたいと考えている。

内容については種々御意見もあろうかと思う。今後とも市民各位の御助言を受けながら、「美しい金沢言葉」の普及に努めたい。

なお、この手引書作成に関し多くの方々から貴重な御助言いただいた。とくに次の方々には、調査やまとめに対し格別の御協力をいただいたことを付記し、感謝の意を表したい。

(順不同、敬称略)

木倉屋 造, 柄崎良子, 覚本 巖, 覚本文子, 金子健樹, 黒田桜の園
新保千代子, 諸江吉太郎, 井上 雪, 美ち奴(打木美智子), 市村一二
土橋寛美, 木田たつ夫, 島田昌彦。

第2集発刊に際し、以上の方々のほか次の方々にも御協力いただきました。

川原幸子, 儀外代治, 志受俊孝。

美しい金沢言葉普及事業「接客ことば」

「おいであそばせ／おいだすばせ」

昭和62年3月30日初版

平成2年5月30日増刷

発行 金沢市観光課

〒920 金沢市広坂1丁目1番1号

電話0762-20-2194

監修 島田昌彦

協力 金沢市観光協会／金沢市旅館協同組合